



令和8年6月5日

長崎県福祉保健部地域保健推進課  
担当：松本、佐々野  
電話：095-895-2466 内線：4658

## マダニ類が媒介する感染症が増加しています

県内では、マダニ類が媒介する感染症である日本紅斑熱の発生が増加しており、1999年以降で最多の発生数となった2021年の同時期を上回るペースとなっています。

また、県内ではマダニ類が媒介する感染症として、「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」や「つつが虫病」の発生も報告されており、併せて注意が必要です。

これらの疾患は、藪や草むらに生息し、病原体を保有するマダニ類等に咬まれることで発生する感染症です。

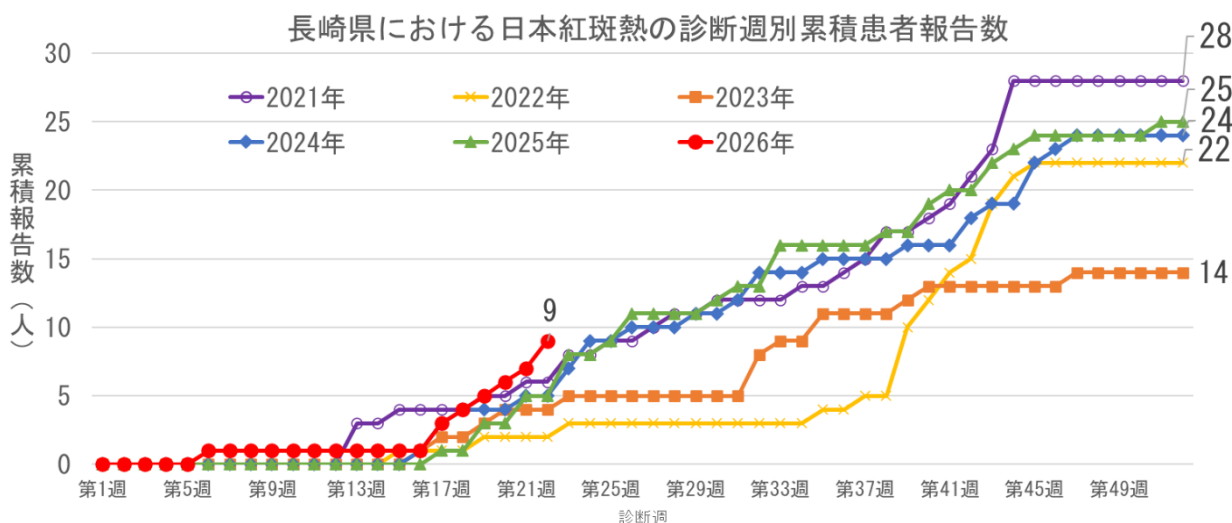
これから夏季を迎え、レジャーや農作業など屋外で活動する機会が増えることが見込まれますので、感染予防等の啓発にご協力をお願いいたします。

### 1. マダニ類媒介性感染症の県内発生状況（2026年第22週（5月31日時点））

年	2021		2022		2023		2024		2025		2026*	
	全国	長崎	全国	長崎	全国	長崎	全国	長崎	全国	長崎	全国	長崎
SFTS	110	6	118	13	134	13	122	13	191	12	62	5
つつが虫病	544	14	492	7	445	15	354	11	290	2	49	1
日本紅斑熱	490	28	457	22	500	14	523	24	674	25	88	9

※2026年の全国の発生件数は、第21週（5月24日時点）の速報データ。

長崎県の発生件数は、第22週（5月31日時点）の速報データ



## 2. 感染予防策等

### マダニに注意しましょう

#### ● 咬まれない対策

農作業、レジャー等屋外で活動する際は、肌の露出を少なくした服装で作業し、虫よけ剤を使用しましょう。

作業後は体や服をはたいて確認し、帰宅後は入浴することが大切です。

#### ● マダニに咬まれた場合

皮膚に付着しているマダニは皮膚科などの医療機関で処置を受けましょう。

無理に取ろうとすると、マダニの一部が皮膚内に残って化膿する、マダニの体液が逆流して、病原体が体内に入りやすくなるといった恐れがあります。

#### ● 咬まれた後の対応

咬まれて数日から2週間程度の間発熱などの症状が出た場合は、早めに医療機関を受診し、咬まれたことを伝えてください。

### 動物との接触にも注意しましょう

- SFTS は、感染した猫に咬まれたことが原因で人に感染した事例が報告されています。ペットとの過度な接触は控え、触れた後は必ず手洗いを行いましょう。

- ペットに付いたマダニは適切に駆除し、体調不良時は動物病院を受診してください。

マダニ類やツツガムシ類は草むらや藪などに生息しているダニです。

「ダニ」といっても、食品等に発生するコナダニや衣類、寝具に発生するヒョウダニのように家屋内に生息するダニとは種類が異なります。



ヤマアラシチマダニ



フタトゲチマダニ



アカツツガムシ

出典：長崎県 ダニからうつる病気の予防 リーフレットより抜粋

この情報提供は、感染症に関する正しい知識の普及と注意喚起を目的とした広報活動です。感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第3条及び第4条において求められているように、患者等の人権尊重には御配慮と御理解をいただきますようお願いいたします。

(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)【抜粋】

第三条 国及び地方公共団体は、教育活動、広報活動等を通じた感染症に関する正しい知識の普及、感染症に関する情報の収集、整理、分析及び提供、感染症に関する研究の推進、病原体等の検査能力の向上並びに感染症の予防に係る人材の養成及び資質の向上を図るとともに、社会福祉等の関連施策との有機的な連携に配慮しつつ感染症の患者が良質かつ適切な医療を受けられるように必要な措置を講ずるよう努めなければならない。この場合において、国及び地方公共団体は、感染症の患者等の人権を尊重しなければならない。

第四条 国民は、感染症に関する正しい知識を持ち、その予防に必要な注意を払うよう努めるとともに、感染症の患者等の人権が損なわれることがないようにしなければならない。

## 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）とは

SFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染して起こる病気です。潜伏期間は6日から2週間で、主な症状は発熱や消化器症状で、重症化して死亡することもあります。予防のためのワクチンはなく、治療としては対症療法が主体になります。

近年、SFTSを発症したネコ及びイヌの症例が確認されており、これらの動物の血液や糞便からSFTSウイルスが検出されています。SFTS以外の感染症に対する予防の観点からも、動物を飼育している場合は過剰な触れ合いを控え、動物由来の感染にも注意してください。

## 日本紅斑熱とは

日本紅斑熱リケッチア (*Rickettsia japonica*) という細菌を保有するマダニに咬まれることで感染して起こる病気です。潜伏期間は2日から8日で、頭痛、高熱、倦怠感発疹（体幹部より四肢末端部に比較的強い）を伴って発症し、重症の場合は死に至ることもあります。発熱、発疹、刺し口が主要三徴候であり、ほとんどの症例にみられます。有効な抗菌薬があるため、治療に用いられます。

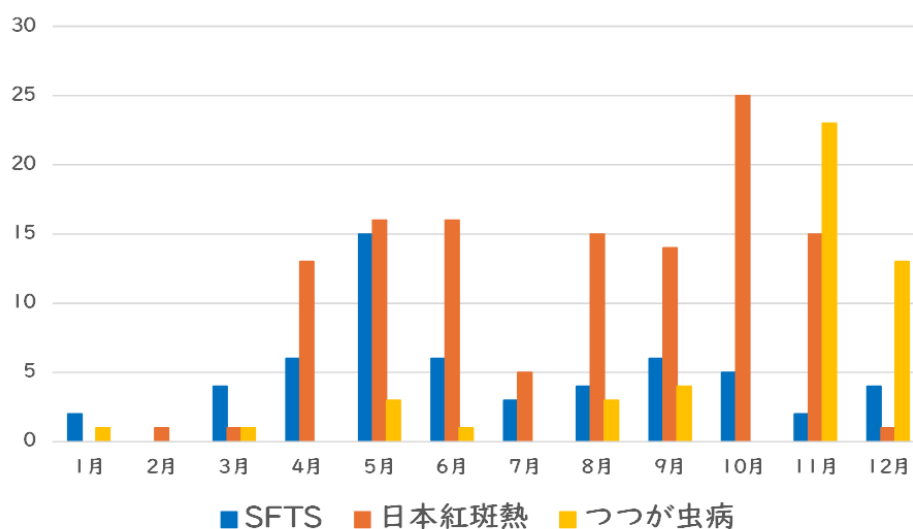
天候の影響を受けるものの、春から秋の長期に渡り患者発生がみられます。

## つつが虫病とは

つつが虫病リケッチア (*Orientia tsutsugamushi*) という細菌を保有するツツガムシ（小型のマダニの一種）に咬まれることで感染して起こる病気です。潜伏期間は5日から14日で、高熱と発疹（主に体幹部）で発症し、重症の場合は死に至ることもあります。発熱、発疹、刺し口が主要三徴候であり、ほとんどの症例にみられます。有効な抗菌薬があるため、治療に用いられます。

全国的には、春～初夏、および秋～初冬の2つの発生ピークがみられますが、関東から九州では、秋から初冬に多くの患者発生がみられます。

2021年から2025年までの月別累計届出数



【参考】

厚生労働省 ダニ媒介感染症

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

長崎県ホームページ ダニ媒介感染症の予防

<https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-299534.html>